

課題

◆新聞記事のスクラップ（新聞記事を切り抜こう）

◆その記事から読み取ったことや感想を書こう

「その日、わたしが気になった記事」「前向きな気持ちになった記事」など、テーマを決めて探してみよう。



まずは、5W1Hを中心に伝えている内容を読み取ろう

工場方式の就労体験



工場方式の就労体験でパソコンの分解作業に取り組む生徒＝水戸市下大野町

体育館に商品検品やPC分解 生産ライン

体育館を使った工場の就労体験は今年で8年目。同校の堀和範教諭は「社会に出たら嫌なこともやらなければならぬ。実習でいろいろな経験をしてほしい」と話した。

（佐藤珠貴）

体育館を使った工場の就労体験は今年で8年目。同校の堀和範教諭は「社会に出たら嫌なこともやらなければならぬ。実習でいろいろな経験をほしい」と話した。

同校はしっかり働いて社会に貢献できる人材の育成を目指し、3年間を通して校内外で多くの実習を行っている。今回は1年生にとって初めての実習で、まずは就労がどのようなものかを知り、社会に必要なコミュニケーションを身に付ける。2年生は10日間ある実習

水戸高等特別支援校

水戸市下大野町の県立水戸高等特別支援学校（白土良子校長）は5月27日から7日まで2週にわたり、体育館を工場に見立て、実際の職場に近い環境で校内実習をしている。同校の1、2年生96人が四つの生産ラインに分かれ、業者から委託された本物の仕事に真剣に取り組んでいる。

のうち最初の5日間のみ参加し、6月24日から始まる校外実習に向けて意識を高めるとともに、1年生に教える役割を担う。生徒は昼食や休憩を挟みながら約8時間半就労する。タイムカードの使用や生産管理表の掲示など、細部まで本物にこだわっている。残業する日も設けられている。

製造ラインを体験した1年の上野陸空さん（15）は「働くのは大変」と感想を述べながら、「将来のために、自分にあった仕事を探していきたい」と前向きな姿勢を見せた。

（2019年（令和元年）6月4日付け 茨城新聞朝刊）

When（いつ） 5月27日から6月7日まで2週にわたり

How（どのように） 体育館を工場に見立て

Where（どこで） 水戸市下大野町の県立水戸高等特別支援学校

Who（だれが） 1・2年生96人

Why（なぜ） しっかり働いて社会に貢献できる

What（なにを） 校内実習をしている。

人材の育成

見出しは、記事の内容を一目で伝える、いわばタイトルです。記事を要約するとき、参考になります。